

や、これから全協があらゆる隣人と共にどのようにに生きていくかで、その歴史の意味づけがなされていくのだと語った。

引き続き、梓を越えて、自身と隣の人

青年も少なくなかった。その後は食事をしながら歓談の時をもったが、その中でOP青年による自身の経験振り返りつつ現在の全協への思いを述べたスビーチ、また来賓によるアビールなどがあつた。また、全協で長く口ずさまれてきた歌を皆で歌ったり、参加者による韓国民謡やブナムル演奏などが披露されたりと、朝鮮半島の文化が

歴史コラム②

神戸女子神学校に学んだ女性伝道師たち

李 清 一 (歴史編集委員会)



写真：神戸女子神学校

金や授業料はなく、全寮制で費用は月12円程度であった。神戸女子神学校時代の61年間の卒業生は220名で、朝鮮出身者は14名である。その内7名が在日朝鮮人伝道に携わるようになった。7名とは、28年卒業の朴宝奎・任鍾豪にはじま

り、33年黄奉愛、38年廉命、39年金生、41年鄭信敬、42年金雲松である。朴宝奎伝道師は、1928年より神戸・大阪・九州地域の伝道に従事した。また、神学校在学中より兵庫教会の幼年主日学校の設立に尽力し、これが基礎となつて28年10月に、L・S・ヤング宣教師の支援で、在日朝鮮人教会で2番目の幼稚園が開園された。大阪では朴尚東牧師と共に今宮・東部・大連橋・住吉・堺の5教会と小坂伝道所で視務した。その後、31年9月に九州に赴任し、「九州地方には教役者が一人もなく、一人で福岡、八幡、小倉、中山、下関等の責任を持って四方巡回して」(「同窓会報」第19号)いた。そして32年9月に帰国した。

新しい宣教師の道として4つの道が提案された。4つの道とは、話すことだけではなく聴くことを基盤にした十字架の道、力のアンバラを補ったパートナーシップを越えた関係であるコンパニオンシップへの道、預言者たちが行ったようにその時代の課題に取り組み公の証言への道、聖霊を私たちの所有物ではなく、神が私たちに与えてくださった神のミッションを標榜した道である。

原則を確認した。同意された事項は、「現行の形でのJNACは終わりにするが、日本と北米間で宣教師協力をいう原則は肯定する。この原則を満たすための組織体が必要なので、新しいフォーラムを設立する。この組織体は、意思決定機関ではなく、宣教師の優先課題を共有し共に働くための協議体である。組織体の核となるグループは現在のJNACを構成するグループであるが、他団体の参加の可能性もある。日本側のパートナーは少なくとも2年に1度会議を開くなどである。

金生伝道師は卒業後、尼崎の朝鮮教会に赴任し、献身的に目覚し働いた。昨年11月の初めから風邪が原因で肋膜炎を病み、入院治療を致したところ、

在日朝鮮教会に女性伝道師が視務するようになったのは、1928年からである。45年までの女性伝道師の数は50名を超える。彼女たちは主に、本国では平壤女子聖経学校・協成女子聖経学校、日本では神戸女子神学校(現・聖和大学)・共立女子神学校・大阪女子神学校で学んだ人々たちである。

神戸女子神学校は、1880年にアメリカン・ボードの女性宣教師によって神戸の花隈に設立された。日本で最初の女性伝道者養成の学校である。21年の学校規則によれば、入学資格は「満21歳以上で受洗後1年を経過した者、高等女学校もしくは同程度の学校を卒業した者」で、入学金や授業料はなく、全寮制で費用は月12円程度であった。神戸女子神学校時代の61年間の卒業生は220名で、朝鮮出身者は14名である。その内7名が在日朝鮮人伝道に携わるようになった。7名とは、28年卒業の朴宝奎・任鍾豪にはじま

り、33年黄奉愛、38年廉命、39年金生、41年鄭信敬、42年金雲松である。朴宝奎伝道師は、1928年より神戸・大阪・九州地域の伝道に従事した。また、神学校在学中より兵庫教会の幼年主日学校の設立に尽力し、これが基礎となつて28年10月に、L・S・ヤング宣教師の支援で、在日朝鮮人教会で2番目の幼稚園が開園された。大阪では朴尚東牧師と共に今宮・東部・大連橋・住吉・堺の5教会と小坂伝道所で視務した。その後、31年9月に九州に赴任し、「九州地方には教役者が一人もなく、一人で福岡、八幡、小倉、中山、下関等の責任を持って四方巡回して」(「同窓会報」第19号)いた。そして32年9月に帰国した。

任鍾豪伝道師は、卒業後一時ロシアのウラジオストクに行き、1929年再来日した。神戸で熱心に伝道に励んでいたが、東京が手薄なので30年10月、東京に赴任し、金吉昌牧師と共に東京と横浜教会で視務した。その間、青山女学院でも学んだ。32年帰国し、平壤女子聖経学校教師に就任している。

盧震鉉牧師と結婚していた黄奉愛氏は、和歌山にある朝鮮教会を皮切りに、大阪住吉・京都・今宮教会(現大阪西成)で奉仕した。金生伝道師は卒業後、尼崎の朝鮮教会に赴任し、献身的に目覚し働いた。昨年11月の初めから風邪が原因で肋膜炎を病み、入院治療を致したところ、

「もう会えないかと思つて心配しました。私は先にいきます。一生懸命に私の分まで働いて下さい。牧師の聖書の朗読と祈りに続いて、病人の歌いだす讃美歌を唱和しての臨終であった」(「同窓会報」27号)。



10月27・30日、日北米宣教師協会(JNAC)のコンサルテーションおよび隔年総会、役員会が明治学院大学において開催された。参加者は延べ64名であり、KCCJからは、崔正剛総会長をはじめ7名が参加した。

JNACは、日本側(KCCJ、日本基督教団、COC)と北米側(カナダ長老教会、米国合同キリスト教会、米国合同メソジスト教会)で構成された団体である。2回目の聖研では、使徒16・6・8をもとに、聖霊によって禁じられている道と新しく開かれていく道があることが述べられた後、

崔正剛総会長は、「福音を告げ知らせるため」と題したメッセージによる閉会礼拝をもって終えた。引き続き行われた隔年総会では役員改選がなされ、久世了氏(COC議長)が

議長に、朴寿吉・KCCJ総幹事とロン・ウォレス牧師(カナダ長老教会)、レベッカ・アセデイロ氏(米合同メソジスト教会)の3名が副議長に選出された。他、来年6月までの予算などが可決された。

総幹事活動日誌

●会議・集会

- 関東地方会任職員会 日時：11月3日 場所：東京教会
- 世界改革教会連盟北東アジア部会総会と協議会 日時：11月4・6日 場所：台湾
- 関東地方会青年連合伝道集会 日時：11月9日 場所：東京教会
- NCC(日本キリスト教協議会)常任常務員会 日時：11月13日 場所：日本キリスト教会館
- 関東地方会教育牧会研究会セミナー 日時：11月14日 場所：東京教会
- 日本基督教団との実務者会議 日時：11月17日 場所：教団総幹事室
- JNAC(日北米宣教師協会)日本委員会 日時：11月26日 場所：JNAC事務局
- 日本キリスト教会との実務者会議 日時：11月27日 場所：総会事務局
- NCC神学・宣教師研究会主催の金谷福博士を囲む懇談会 日時：11月30日 場所：日本キリスト教会館のクリスチャン・アカデミー会議室
- RAIK理事會 日時：11月30日 場所：東京教会
- 説教・講義
- 名古屋教会 日時：11月16日
- 長野教会 日時：11月23日
- 総会神学校 日時：11月24日

장터

韓国食品・書籍・CD・ビデオ

(株)韓国広場

新宿店：東京都新宿区大久保1-17-7
TEL (03) 3232-5400
FAX (03) 3200-2949

代表取締役 金根熙

不動産業務全般

免許番号・愛知県知事③第5426番

太栄企業株式会社

代表取締役 金光洙 (名古屋教会 長老)

事務所 名古屋市中熱田区川並町2番21号 (名古屋市中中央卸売市場入口南側太栄ビル)
電話 052(682)1177(代)

自宅 名古屋市中千種区御影町2-55-5

株式会社 ニューキング 愛

有限会社 三

取締役社長 李鍾善 (名古屋教会 長老)

ニューキング 四日市市野田1丁目965-1
TEL (0593) 31-4771(代)

三 愛 岡崎市大和町字荒田14-1
TEL (0564) 31-8893(代)

「私たち韓国・日本・在日兵に反対し、東アジア平和を共同で、東アジア人権共同を創り出すために、共同して活動していくことを確認する」

【排外主義の風】

いま日本では、自民族中心主義・排外主義による国家主義が公然と台頭している。昨年9・17以降、在日韓国・朝鮮人に対して、様々な暴力が加えられている。民族学校に通う在日4世・5世の子どもたち、

平和を創り出す責任

21世紀の世界と東アジアは、平和を阻害する多くの問題に満ちている。2001年9・11以降、「テロ撲滅」を名目とする米国の中心とした多国軍によるアフガニスタン、イラクへの軍事攻撃は、多くの生命を奪い、民衆の生活基盤を根こそぎ破壊した。

2002年9月17日の日本と朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)との首脳会談で明らかになった日本人拉致事件をめぐる、日朝国交交渉が膠着状態に陥っている。さらに北朝鮮の核兵器開発をめぐる米朝と北朝鮮との対立は、02年10月以降再び先鋭化し、一触即発の状況にある。米国の一極化、軍事体制化の下、韓国はイラクに派兵し、日本では今夏、「有事法制関連法」「テロ特措法」「イラク特措法」など、自衛隊の海外派兵、軍事大国化につながる法案が次々と国会で成立している。

このことは、東アジアに住む私たちに、

「予見される危機を眺める知的・現実的無力感」から脱して、主イエスの名に基づき、真の平和を創り出す責務を課している。私たちは日本の軍事化、韓国の海外派兵について「爆弾が仕掛け

第10回外登法問題国際シンポジウム
共同宣言

「私たちは、戦後日本が朝鮮半島の南北分断の受益国としてあつたことも含めて、植民地支配の歴史責任を、いまだ果たしていないと考える。したがって、私たちは日本政府に対して、ただちに無条件で日朝交渉を再開すること、在日韓国・朝鮮人に対する差別政策・人権弾圧を中止することを求める。」

②私たちは日韓両政府に対し、多民族・多文化共生社会の実現に向けて「すべての移住労働者とその家族の権利保護条約」を批准し、未登録移住労働者の合法化と、難民申請者の在留資格付与、外国人研修制度の廃止を求める。

③私たちは日本政府に対して国際人権条約に基づき「人種差別(民族差別)禁止法」の制定および政府行政機関から独立した「人権委員会」の創設と「外国人住民基本法」の制定を求める。

④私たちは日本政府に対して、在日韓国・朝鮮人など旧植民地出身者とその子孫に対して、日本の歴史責任を明記し、民族的マイノリティとしての地位と権利を保障する「在日基本法」の制定を求める。

⑤私たちは、日本の歴史教科書の歪曲を許さず、日・韓・在日教会がその出会いと学びをさらに深めるよう歴史学習への取り組みを強化する。その一環として『歴史をひらくとき』改定版を出版するとともに、『日・韓・在日キリスト青年共同研修プログラム』を積極的に支援する。

2003年10月22日 (抜粋)

大阪西成教会が創立80周年

感謝礼拝と併せ記念集会を行う

大阪西成教会では、11月16日、創立80周年を迎え、感謝礼拝および記念集会がもたれた。

感謝礼拝では、聖歌隊や教会学校およびジュリコ合唱部の讃美の中、プロジェクトを使い、80年間の神の導きを振り返った。大阪西成教会は1923年、朝鮮から西成区長橋の小さな借家に移り住んだ1家庭の礼拝から始まった。そして35年に初代の長老を将立した後、アジア・太平洋戦争という大きな試練を乗り越え、戦後再び、信徒の家庭礼拝を通して教会が再建され、48年に礼拝堂が建



長橋の小さな借家に移り住んだ1家庭の礼拝から始まった。そして35年に初代の長老を将立した後、アジア・太平洋戦争という大きな試練を乗り越え、戦後再び、信徒の家庭礼拝を通して教会が再建され、48年に礼拝堂が建

WARC 北東アジア部会総会を開催

副議長に金性済牧師を選出

世界改革教会連盟(WARC)北東アジア部会(NEAA)第5回総会と第7回神学協議会が、11月4・5日、台湾・台北市内のフイティン修練院で開催された。ルース・カオ長老(台湾長老教会)の司会、姜ヨング牧師(NEAAC議長)の説教、孫達益牧師(統台)の祝詞によって開会礼拝が行われ、姜牧師は、「すべての人々が豊かに命を分かち合うために」という、来年に開かれる第24回WARC総会の主題を取り上げて説教をした。

5日の神学協議会では、朴宗和牧師(基長)によって、「韓国の危機と韓国教会との課題」が基調講演となされた。朴牧師は、朝鮮半島が北朝鮮の核兵器問題で危機に直面していることに言及しながら、現在の「危機」は、戦争の危険ともいえることを強調し、3月1日の韓国キリスト教平和連帯福音主義者たちと韓国キリスト教教会協議会所属の300名のエキシメニカル・リーダーたちが署名した「戦争と核兵器反対のための平和宣言」をその具体的な例として紹介した。

2番目の発題では、金性済牧師が「移住者たちと共に生きる豊かな生活」(副題:「世界化時代の新ナショナリズム」)における民族差別と移住者の神学」という題で発題した。

6日の総会では、来年にガナ・アクラで開かれるWARC総会の日程と主題に対する報告があった後、NEAACの各メンバー教団の報告があり、KCCJからは、朴寿吉総幹事が報告を行った。

第18回外登法の抜本的改正を求める
全国キリスト者1・24全国集会

外国人が暮らしやすい社会は
日本人にも暮らしやすい

日時●2004年1月24日(土)午後2時～
会場●大阪カテドラル聖マリア大聖堂
内容●在日外国人の証言・ゴスペルバンド・文化交流(歌・踊り・食べ物)・教会青年による劇と礼拝—ともに生きる世界のために—
主催：外登法問題と取り組む全国キリスト教連絡協議会(電話03-3203-7575・RAIK)

2004年度ドイツ・プロテスタント教会奨学金

●目的:ドイツでの学問的研究、エキシメニカルな働き人の養成など
●募集人員:若干名
●応募資格:神学・キリスト教(その他関係諸学)の大学院修士課程を修了、または同程度以上の学力を有する者
●奨学金支給期間:2004年10月～2005年7月(ドイツまでの往復旅費は含まず)
●書類提出の締切日:2004年1月13日
●提出書類などの問い合わせ:申込先・NCCドイツ教会関係委員会(担当:笹本てる美) 電話03-3203-0372
●締切日:2003年12月末日
●派遣期間:2年間
●応募資格や待遇、提出書類のお問合せ先:NCC(担当:笹本てる美) 電話03-3203-0372

中国愛徳基金
日本語教師派遣

●募集人員:若干名
●締切日:2003年12月末日
●派遣期間:2年間
●応募資格や待遇、提出書類のお問合せ先:NCC(担当:笹本てる美) 電話03-3203-0372